



GUNBOH

群 萌

第197号 2019年4月16日

発行所 全国化学労働組合総連合

〒105-0021 東京都港区東新橋2-16-1

ルーシビル402号室

TEL 03 (6452) 8806

FAX 03 (6452) 8807

発行責任者 寺前 敦司

編集者 化学総連事務局

gs03@kagaku-s.com



～働き方改革のはじまり～

全国化学労働組合総連合 会長 寺前 敦司

4月に入り、新しい年度が始まりました。新しい組織や計画だったり、新しい社員を迎えたり、新しい街でスタートしたりと、期待や不安の入り混じる季節です。一人ひとりの新しいが始まる4月にあって、これを読んでいる全ての皆様に関係して新しいものといえ、改正労働基準法の施行です。

時間外労働の上限規制、年次有給休暇取得の義務など、それらの内容については皆様も既にご存じの通りのことと思います。これらのいわゆる「働き方改革」が始まるわけですが、それは、働く時間を短くしても同じだけの成果を得るという改革であり、そこには会社や個人の一層の創意工夫が必要不可欠です。

会社として取り組む課題は、規模によってそれぞれですが、業務の標準化・簡略化・マニュアル化、データの構造化とアウトプットの自動化・共通化・共有化、テレビ会議やサテライトオフィス・テレワークなどを最近よく耳にします。導入時は大変でしょうが、長い目、広い視点に立てばいずれも十分な効果があるものと思います。

では個人として工夫することはどうでしょう。これも様々あるでしょうが、僕は定時で帰ると決めることから始めるのがいいと考えています。残業申請すればいいやという気持ちだと、結局のところ、時間がズルズルと過ぎてしまいます。毎日が無理ならせめてこの曜日と決めて、仕事の後に何か予定を入れてしまうのが、定時で帰るためには効果的です。そうやってまずは時間内で帰ることを自分に義務付けて、時間をどう上手に使うのかは後から考えればいいのです。必要は発明の母、火事場の何とかと言って、人間追い込まればどうにかなるさと僕は思いますが、無責任との声も聞こえそうなので、時間の使い方について、昨年化学総連働き方講演会にご登壇いただいた櫻田毅氏の著書「外資系エグゼクティブ

の逆転思考マネジメント(ぱる出版)」の中から二つ挙げたいと思います。

一つは『いますぐに、少しだけ手を付ける』ことだと思います。日々いろいろな仕事や、それぞれの締め切りを伴って降りかかっています。仕事が落ちてきた時点で手を付けてみて、その「難易度を実感」し、その「内容を確実に理解」し、場合によっては「協力者などへの依頼」を前もって済ませてしまうのです。ぎりぎりになって蓋を開けたら超難問で、大至急お願い助けてなどとバタバタしていると、残業して当然となってしまい、しかも具合の悪いことに本人は頑張っている気になってしまいます。しかし、前もってちょっとやっておけば、全く不要な労力なのです。

もう一つは、『宵越しのボールは持たない』ことだと思いますが、こちらは紙面の関係で次の機会に。これら二つ以外にも時間内で効率よく仕事をする様々な考え方、さらにはそもそも仕事にどう取り組むべきなのかということについて、シンプルに小気味よく書かれているので、気になる方は前述の書籍をお手にとっていただければと思います。コンプライアンスに厳しい昨今ですので、まかり間違っても、定時で帰ったことにしてこっそり仕事をする方法を一生懸命考えるということのないように。

さて5月1日より、新しい元号「令和」が始まります。令和元年が「私の働き方改革元年だった」と振り返ることのできるように、何か新しい取り組みに挑戦していただければと思う次第です。最後になりますが、これからも皆様のご理解とご協力のもと、民間企業労働組合として、より自主的かつ主体的な労働運動を展開し、化学産業の持続的発展に資する真にプロフェッショナルな産別組織を目指して、鋭意取り組んでまいります。

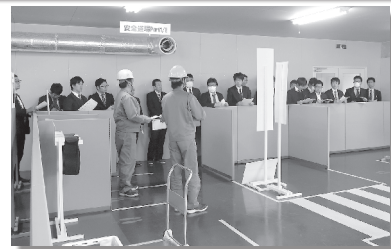
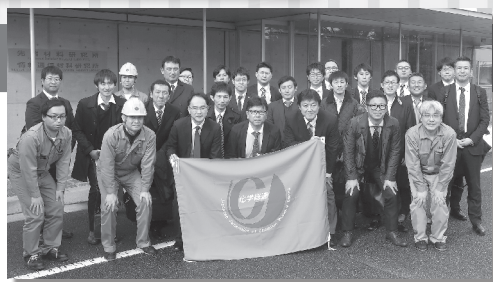
化学総連活動報告

【第10回安全担当者会議】

日 時 2019年3月11日(月)
場 所 住友ベークライト株式会社 宇都宮工場
ホテルマイステイズ宇都宮
参加人数 25名

2016年に日化協安全優秀賞を受賞した住友ベークライト株式会社の宇都宮工場を訪問し、安全の取り組みについて田中生産技術部長よりご紹介いただきました。続いて、安全意識の向上と危険予知のスキル習得のための安全道場を見学しました。

各単組にご協力いただいた第2回安全アンケートについて、環境安全委員会より化学総連全体の集計結果を一次報告しました。分科会では4班に分かれて、労働災害の発生状況および傾向などについて情報交換を行い、各単組への取り組みに繋がりました。



【第91回調査担当者会議】

日 時 2019年3月15日(金) 場 所 化学総連 会議室 参加人数 20名

2018秋闘を実施した8単組よりその取り組み結果をご報告いただき、続いて、オプション調査結果をご報告いただきました。その後、2019春季労使交渉の検討状況についての情報交換を行い、各単組での取り組みの共有化を図りました。最後に、昨年システム更新を行ったWeb版労働条件基本台帳の改善点について議論しました。

【2019年度 第2回書記長・事務局長会議】

日 時 2019年3月20日(水)
場 所 JNC株式会社 大阪事務所
参加人数 16名



「60歳以降の雇用形態について」と「離職対策について」の2つを議題に情報交換しました。各単組における現状や課題、対応状況について質疑応答を行い、各単組での取り組みの一助に繋がりました。

【幹事会メンバーと静岡地連意見交換会】

日 時 2019年3月28日(木)
場 所 ホテルアソシア静岡
参加人数 26名



他地連における産業政策の取り組みを事務局より紹介した後、意見交換を実施しました。静岡地連は構成している単組数が少ないため、隣接している愛知地連と連携して活動しているとのことでした。今後もこのような意見交換を通じて、地連活動のさらなる活性化に繋がっていきます。